

# Feng-Shui Gallery

special edition vol.103

## 『オフィスのリフォーム・レイアウト変更』

～曲線がもたらす室内環境の変化～

近年ではオフィス空間に曲線を多用したデザインが見られるようになってきましたが、まだまだ主流ではなく、多くは左ページのような直線をメインとした空間造りが多いのが現状です。直線で構成された空間は無駄なスペースが少なく効率的ではありますが、その分空間の氣の流れが悪く、エネルギーが低いと考えられます。右ページのような曲線を多用した空間にすることで、氣の流れが活発化することはもちろんのこと、視覚的にも動きのある良い情報として、その空間で過ごす人の脳に影響を及ぼします。また曲面の壁には優しく包み込んでくれるような包容力があり、居心地の良い空間を作り出してくれます。

画像の「原設計」と「リフォーム案」を見比べてみると、個室数や座席数は同じですが、曲線壁で構成された「リフォーム案」は動線に動きがあり、奥に進むほどワクワク感や期待感を演出するような空間デザインとなっています。訪れる人やそこで働く人の心に、何らかのプラスになるような感情を与えられる環境を作り出すことで、その企業の業績にも良い影響がある、というのが風水デザインの考え方です。

レイアウトがしっかりとまとめれば、その後の色彩デザインでそれぞれの空間に適した色を選定します。目的に応じた配置・色彩をオフィス空間全体でまとめ上げることで、同じ目標や方向性を無意識のうちに共有することができ、職場環境の雰囲気をよくすることができると考えられます。

原設計

リフォーム案



直線で構成されることの多いオフィス空間のリフォーム。  
曲線を多用することで、氣の流れの良い空間に仕上げる。